



☆ さわやかな春です。

暖かなそよ風が吹くようになってきて、さわやかな季節がやってきました。そわそわ、ふわふわと気持ちも浮き立つようですね。そこで、今回は、ふわふわとやさしい絵本を集めてみました。今年2月に亡くなられた詩人、まど・みちおさんの絵本もご紹介しています。併せてお楽しみ下さい。



春、来る



絵本・ ちょうちょう ひらひら

まど・みちお文、西巻茅子絵、こぐま社

春風に乗って、ちょうちょうがひらひら。うさちゃんに止まって、うさちゃんがうふふ。次に、しかさんに止まって……。

今年2月に亡くなられた、童謡「ぞうさん」でおなじみのまど・みちおさんの絵本。やさしく、リズムカルな文章に、淡い色彩の絵がよく合っていて、穏やかな気持ちにしてくれます。ごく小さい子に。

絵本・ ルラルさんのにわ

いとろひろし作、ポプラ社

ルラルさんは、自分の庭が自慢の種で、誰にも入らせようとしません。ところが、ある朝、庭を見ると、ワニが庭に入ってきて……。

明るい色彩と、愉快的な発想の絵本。最後のページの、みんなの幸せそうな顔は、こちらまで楽しい気分にさせてくれますよ。

絵本・ マドレーヌ、 ホワイトハウスへいく

ジョン・バーメルマンズ・マルシアーノ作、
江國香織訳、BL出版

海を渡り、マドレーヌと11人の女の子たちがアメリカへやってきました。ホワイトハウスに住む、キャンドルという女の子に会うためです。イースターのお祭りに招待されたマドレーヌたちは、お祭りを楽しみます。そして、お別れの前の晩に起こった、素敵な出来事とは……。

絵本・ おかあさん だいすき

マージョリー・フラック文・絵、光吉夏弥訳・編
岩波書店(岩波の子どもの本)

ダニーは、お母さんの誕生日に贈るものを探しに出かけます。ところが、メンドリやガチョウがくれるものは、どれもお母さんが持っているものばかり。最後に出会ったクマが教えてくれたことは……。

リズムカルな繰り返し楽しい絵本。他に「おかあさんのあんでくれたぼうし」というスウェーデンのお話も入っています。



科学絵本・ つくし

甲斐信枝作、福音館書店(かがくのとも絵本)

つくしを食べたことありますか？ 天ぷらに卵とじ、煮ても焼いてもおいしい春のごちそうつくしと、厄介者のスギナ。同じ「ねっこ」でつながっているってしていませんか？ この本は、そんなつくし、スギナの生態を、簡潔な文章と、緻密な絵で、分かりやすく解説してくれます。



☆ おはなし会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。ぜひ、楽しいおはなしを聞きに来てください！

次回は
時間
場所

5月17日(土)、6月21日(土)
午後3:00～3:30
西部図書館 お話し会のへや





☆ 雨降りの日は…

今年もとうとう梅雨入りしましたね。シトシト、ジメジメで、あまり楽しい時期ではないですが、それでも、絵本の中には、雨の日の楽しい過ごし方のヒントがたくさん。たまには、傘をさして散歩に出かけるのもいいかも……。なんて思ってしまうですよ。今回は、楽しい雨ばかりではなく、大変な雨も入れてみましたので、一緒に楽しんでみてください。



梅雨、来る



絵本・ **ぞうくんのあめふりさんぽ**

なかのひろたか作・絵、福音館書店(こどものとも絵本)

雨の降る中、ぞうくんはご機嫌で散歩に出かけます。池でかばくんに出会い、今度は2匹で池の中を散歩しますが……。

デザイン化された絵は、シンプルで表情も豊か。単純な繰り返しの文章と合わせて、幼い子の心を引きつけます。

最後には、楽しいことが待っていますよ。

絵本・ **まりーちゃんとおおあめ**

フランソワーズ文・絵、木島始訳、福音館書店

雨が降って、小川があふれ、あたり一面水浸しに。生き物は山へ、みんなは2階へ逃げますが、あひるのままでろんだけは、あっちへこっちへ、気持ちよく泳いでいます。

デザイン化された暖かみのある絵は、表情も豊かで、助けが来た時の安心感もよく伝えてくれます。

絵本・ **かさ**

太田大八作・絵、文研出版

雨の日の夕方、赤い傘をさした女の子が、駅までお父さんを迎えに行きます。手には大きなお父さんの傘。

黒一色の中に、女の子の傘の赤だけが浮き立った絵本。文字はなく、街並みに行く女の子の姿だけで物語が進みます。帰りは、お土産を買ってもらい、お父さんと一緒に帰ってきますよ。

絵本・ **かえるがみえる**

松岡享子作、馬場のぼる絵、こぐま社

“かえる”に“～える”の付く動詞を添えた短文で綴った、ナンセンスな言葉遊びの絵本。リズムカルな文章と、線画の、ユーモラスで表情豊かな絵がよく合っていて、楽しい絵本です。姉妹編で、時代劇仕立ての『いまはむかし さかえるかえるのものがたり』もご一緒にどうぞ。



科学読物・ **雲と天気**

塚本治弘著、あかね書房(あかね科学のアルバム)

四季折々の雲を、美しい写真と、簡潔な文章で解説した科学読物です。雲と天気の関係、雲と太陽の光が作る不思議な現象などを、分かりやすく説明してくれます。スペースシャトルから撮った台風の雲や、夕焼け雲など、写真を見ているだけでも楽しめますよ。



☆ おはなし会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。ぜひ、楽しいおはなしを聞きに来てください！

次回は
時間
場所

7月19日(土)・8月30日(土)
午後3:00～3:30
西部図書館 お話し会のへや





☆ 夏が来た！

夏が来ました。海に、山に、町の中にならで、夏ならではの楽しいことが詰まっています。そこで、今回は、そんな夏の楽しみ方を紹介してくれる本を集めてみました。家の中ばかりではなく、お子さんと一緒に、外に飛び出してみるのも、たまにはいいかもしれませんよ。



楽しい夏休み



絵本・なつですよ

柴田信吾作、近藤薫美子(くみこ)絵、金の星社
(四季のえほん)

「こんにちは なつですよ」

森にも、山にも、海にも、夏がやってきました。夜は川で蛍が光り、里山では子どもたちが虫捕りに熱中し、海の底では色とりどりの魚が泳いでいます。そんな夏の様子を、ある場面では細かく、ある場面では迫力たっぷりに描いた絵本です。絵をじっくりお楽しみ下さい。

絵本・ばあちゃんのなつやすみ

梅田俊作・佳子作・絵、岩崎書店

今日は、東京から娘と孫がやってくる日。ばあちゃんは、朝から落ち着きません。孫たちが来たら、何をして遊ぼう……。

ばあちゃんが子どもの頃にした遊びも面白そうですが、待ち遠しい時間も、ソワソワ、ワクワクして、気持ちのよいものです。ばあちゃんと一緒に、ドキドキを楽しんでみてはいかがでしょうか。

絵本・たのしいなつ

ロイス・レンスキー作、さくまゆみこ訳、あすなろ書房(ロイス・レンスキーの四季のえほん)

待ちに待った夏が来ました。泳いで、遊んで、昼寝して。また遊んだら、おやつを食べて。丁度にもたつふ楽しい夏の夜を描いた、レンスキーの四季のえほんの中の一冊。手乗りサイズの小型の絵本ですが、楽しいことがたっぷり詰まっています。「あき」「ふゆ」「はる」も一緒にどうぞ

科学絵本・せみとりめいじん

上矢津作、奥本大三郎監修、福音館書店
(かがくのとも傑作集)

てっちゃん、まだ一人でセミを採ったことがありません。そこで、セミ採り名人のどんちゃんにセミの採り方を教わることに。

特製のセミ採り網の作り方とその使い方、セミの種類や見つけ方などが、分かりやすく解説されています。自然とたっふり付き合っているどんちゃんの姿もたっふり絵本です。



科学読物・なつのほし

かこさとし著、偕成社。(かこさとし・ほしのほん2)

夏の夜、空を見上げて、まず、目に入るのが天の川。それに沿って見つかる星や星座、銀河系のことなどを、この本は分かりやすく解説しています。たまには、夜、空を眺めるのもいいかも、と思いますよ。四季全部そろっていますので、一緒にどうぞ。



次回は
時間
場所

8月30日(土)、9月20日(土)、10月18日(土)
午後3:00～3:30
西部図書館 お話し会のへや

【お知らせ】

8月のおはなし会は、お盆のため、第5週の土曜日となります。お気を付け下さい。





こんな本も、いかがですか？

絵本・ **ブルーベリーもいでの
フッテのぼうけん**
エルサ・ベスコフ作・絵、小野寺百合子訳、
福音館書店

フッテは、お母さんの誕生日のプレゼントにと、ブルーベリーとコケモモを摘みに、森へ出かけます。けれども、見つからなくて泣いていると、ブルーベリー森の王様が出てきて……。

色調を抑えた、繊細な絵は、表情も豊かで、子どもたちも楽しげです。自然の姿も美しく描き出された絵本です。

絵本・ **ふねにのったねこのヘンリー**
メリー・カルホーン文、エリック・イングラハム絵、
猪熊葉子訳、リフリオ出版

お父さんと男の子が、ヨットに荷物を積み込んでいます。お父さんは、「ねこってものは、水がきらいだからな」と言いますが、ねこのヘンリーは、ヨットに乗りたくて仕方ありません。お父さんたちが目を離れたすきに、ヘンリーは乗り込んでしまいます。

細やかなタッチの写実的な絵が、不思議とリアリティのある絵本。美しい海の様子も楽しい一冊です。

絵本・ **海のおぼけオーリー**
M. H. エッツ文・絵、石井桃子訳、福音館書店

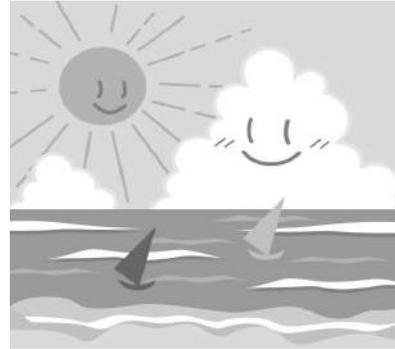
生まれたばかりの赤ん坊アザラシ、オーリーは、捕まえられて、遠く離れた、湖のそばの水族館へ送られます。動物思いの飼育係に助けられ、湖に放されますが、人々は、オーリーのことを、正体不明のオバケと思い、大騒ぎに。

墨一色で、コマ割りになった絵は、表情も豊かで、最後には、暖かな安心感も与えてくれます。

読物・ **アイスクリーム
・かながかなをつくったはなし**
マルシャーク文、レーベテフ絵、内田莉莎子訳、
岩波書店(岩波の子どもの本)

アイスクリーム売りのおじいさんがやってきました。子どもたちも集まってきましたが、大慌てで走ってきたのはふとっちょの紳士。このふとっちょさん、おじいさんが持っていたアイスクリームだけでは足りなくて、他のアイスクリーム売りのアイスクリームもどんどん食べていき……。

年取ったかなが、後継ぎのかなを作る話も入っています。



科学絵本・ **はるにれ**
姉崎一馬写真、福音館書店

広々とした原野に1本のはるにれの木。この本は、季節によって移ろっていくその姿をとらえた写真絵本です。秋から冬へ、そして春へと変化していく姿を、遠景、近景織り交ぜた、美しい写真のみで綴っていますが、その姿は、まるでドラマを見ているようで、絵本の中に引きこまれていきます。



★ おはなし会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。ぜひ、楽しいおはなしを聞きに来てください！

次回は **8月30日(土)、9月20日(土)、10月18日(土)**
時間 **午後3:00～3:30**
場所 **西部図書館 お話し会のへや**



* 8月のおはなし会は、お盆のため、第5週の土曜日となります。お気を付け下さい。



☆ 秋、到来

やっと秋がやって来た、と言うのか、突然秋になったというのか、今年は、いつまでも暑いと思ったら、急に寒くなったりと、忙しい年ですね。それでも、季節はきちんとやってくるもののようです。そこで、今回は、秋に読んでみたい本を集めてみました。読書週間も近いことですので、秋の夜長、読書でもいかがですか。



秋の夜長に…



絵本・ **がちょうのペチューニア**

ロジャー・テュボワザン作、松岡享子訳、富山房

本を拾ったガチョウのペチューニアは、持っているだけで賢くなったと思ひ込み、次々と動物たちの相談に乗っていきますが……。

好奇心旺盛でも、あまりお利口さんでないペチューニアと、動物たちとのやり取りも楽しい絵本。最後には、ちゃんと、大切なことに気づかせてくれますよ。

絵本・ **おやすみ おやすみ**

シャーロット・ソロトウ文、ウラジミール・ポズリ絵、伏見操訳、岩波書店

いろいろな生き物が、それぞれの場所で眠っています。クマは暗い巣穴で、ハトは体を寄せ合って、魚は水草の中で、……。

それぞれの眠る様子を、詩のように流れる文章と、デザイン化された絵で綴った絵本。穏やかな心と安心感を与えてくれます。お休み前にどうぞ。

絵本・ **ぶたためききつねねこ その2**

馬場のほる作、こくま社

動物たちを主人公に、物や動物の名前でしりとりをしながら、絵で物語を綴った、しりとり遊びの絵本。最後は、出てきた動物たちみんなで、十五夜のお月見をしますよ。

みんなでクリスマスパーティーをする『ぶたためききつねねこ』も一緒にどうぞ。

読物・ **あおい目のこねこ**

エゴン・マラーセン作・絵、瀬田貞二訳、福音館書店

青い目の元気な子ネコは、ある日、ネズミの国を探しに旅に出ます。途中、魚にびしょ濡れにされたり、黄色い目の猫たちにばかにされたりしても、くじけません。最後に、イヌの背に乗って行ったところは……。

白地に墨の大胆な絵に、青と黄色のみの色彩がおしゃれな絵本です。



絵本・ **おつきさま こっちむいて**

片山令子文、片山健絵、福音館書店

夕方、細い月が出ています。男の子は、「こっちむいて」と呼びかけます。月は、飛行機を見たり、自転車の後をついてきたり、だんだんと姿を変えていきますが、ちっともこちらを向いてくれません。ところが、……。

幼い心に満足感と、ちょっとした科学の心を芽えさせてくれる絵本です。



★ おはなし会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。ぜひ、楽しいおはなしを聞きに来てください！

今回は
時間
場所

11月15日(土)、12月20日(土)
午後3:00～3:30
西部図書館 お話し会のへや



【お知らせ】

11月1日(土)に、西部図書館視聴覚室にて、大人のためのおはなし会を開催いたします。お誘いあわせの上ご来場ください。



☆ MERRY CHRISTMAS & A HAPPY NEW YEAR

今年も楽しい季節がやってきました。街中、キラキラして、嫌でもクリスマス気分を高めてくれます。そこで、今回は、クリスマスの本をたくさん集めてみました。今年は、大人の方向けの本もご紹介していますので、子どもたちと一緒に楽しんでみてください。来年の干支、羊の本もご一緒にどうぞ。



メリー・クリスマス



絵本・クリスマス・イブ

マーガレット・W・フラウン文、ベニ・モントレゾール絵
矢川澄子訳、ほるぷ出版

クリスマス・イブの夜、子どもたちはなかなか眠れません。そこで、そっとベッドから抜け出して、階下へやってくると……。

ブラウンの遺作に、イタリア出身の画家が絵を付けました。オレンジ色の地に、細やかなペン画と、黄色が効果的な絵本。厳かな雰囲気伝わってきます。

絵本・聖なる夜に ~ A Small Miracle ~

ピーター・コリントン作、BL出版

クリスマス・イブの夜、おばあさんは、たきぎと食料を買うためのわずかばかりのお金を、バイクに乗ったひったくりに奪われてしまいます。仕方なく小屋に帰る途中、雪の中で倒れてしまったおばあさんを助けてくれたのは……。

聖なる夜、正しい行いをした者に贈られた奇跡の物語。字のない絵本です。

絵本・聖なる夜

セルマ・ラーゲルレーヴ文、イロン・ヴィークランド絵、うらた あつこ訳、ラトルス

ある夜、男の人が、火を分けてもらおうと家々を訪ね歩きます。しかし、どの家も寝静まっていて、答えたくれません。とうとう、原っぱで羊の番をしていた、年老いた羊飼いのところまでやってきますが……。

『ニルスのふしぎな旅』の作者、ラーゲルレーヴが子どもの頃、大好きなおばあちゃんから聞いたクリスマスの物語です。

絵本・ちいさなろぼ

ルース・エインズワース作、石井桃子訳、酒井信義画、福音館書店(こどものとも傑作集)

クリスマス・イブの夜、いつもひとりぼっちのちいさなろぼは、足を痛めたトナカイの代わりに、サンタクロースの手伝いをします。その翌朝、お礼にサンタクロースがちいさなろぼに贈ったものは……。

柔らかい水彩画の絵本。心温まる結末にホッとしますよ。



絵本・ぎんいろのクリスマスツリー

パット・ハッチンス作、渡辺茂男訳、偕成社

リスは、自分の木を一生懸命飾り付けます。ヒイラギとツタをからませ、木イチゴを下げ、枝の先には松かさや麦の穂を。そして夜、木のとっぺんに銀色の星が輝くを見て、これを友だちへのクリスマスプレゼントにしようと考えますが……。

友だちと過ごす、特別な夜が待ち遠しくなるような絵本。デザイン化された細やかな絵も美しいですよ。



次回は
時間
場所

2015年 1月17日(土)、2月21日(土)
午後3:00 ~ 3:30
西部図書館 お話し会のへや



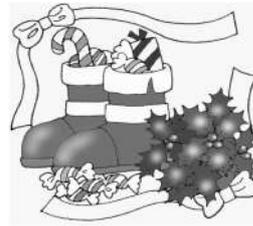


まだまだ、あります！ MERRY CHRISTMAS & A HAPPY NEW YEAR

絵本・ **ウェールズのクリスマスの思い出**
ティラン・トマス文、エドワード・アーティゾーニ絵、
村岡美枝訳、松浦直己監修、瑞雲舎

‘クリスマスの思い出は、いくつもの雪の玉と
なつてころころと、英語とウェールズ語をしゃべる
海へ転がってゆく。’

若くして夭折した天才詩人の子どもの頃の、い
つもと同じで、でも音楽にあふれ、楽しいクリスマ
スの思い出を綴った絵本。美しい線画の絵ととも
にお楽しみ下さい。大人の方へ。



あけましておめでとう！



絵本・ **まりーちゃんとひつじ**
ワランソワース文・絵、与田準一訳、岩波書店

まりーちゃんは、大好きなヒツジのぱたぼん
に、いつか子どもが産まれたら……と考えます。そ
して、その想像はどんどん大きくなっていき……。

素朴で暖かみのある絵と、詩のように流れる文
章の絵本。続編に『まりーちゃんのくりすます』『ま
りーちゃんとおおあめ』(こちらは福音館書店)があ
ります。あわせてどうぞ。

絵本・ **ペレのあたらしいふく**
エルサ・ベスコフ作・絵、小野寺百合子訳、福音館書店

ペレは、自分の服が小さくなったので、自分の
飼っている羊の毛を刈ります。それをおばあちゃ
んのところへ持っていき、畑仕事をする代わりに梳
いてもらいます。次に、……。

小さな男の子が自分の服を手に入れるまで
を、横長の画面に丹念な絵で描いた絵本。新しい
服を手に入れたペレの誇らしさも伝わってきます。

絵本・ **かさじぞう**
瀬田貞二再話、赤羽末吉画、福音館書店

大晦日、貧しいおじいさんが、笠を五つ作って
町へ売りに行きますが、だれも買ってくれません。
その帰り道、雪の中に立つ六地藏を気の毒に
思ったおじいさんは、自分の笠も脱いで地藏にか
ぶせて帰ります。すると、正月の明け方、ソリ引き
の音がしてきて……。

暖かな雰囲気を持つ日本の昔話。扇面に描か
れた墨絵も、話のイメージを引き立てます。

絵本・ **しめかざり**
森須磨子文・絵、福音館書店(たくさんのふしぎ傑作集)

お正月、家々の玄関に飾られる‘しめ飾り’。
お正月の神様をお迎えするためのものです。この
‘しめ飾り’、日本全国でいろいろな形のものがある
ことを知っていましたか。俵に、鶴、亀など、よく
見かける輪に立ったものでも、飾られているもの、
それぞれに意味があります。そんなしめ飾りにつ
いて書かれた絵本です。



★ おはなし会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行ってい
ます。ぜひ、楽しいおはなしを聞きに来てください！

次回は **2015年 1月17日(土)、2月21日(土)**
時間 **午後3:00～3:30**
場所 **西部図書館 お話し会のへや**



平成27年も皆様にとって、良い年でありますように。そして、すばなしの会みみずくもよろしくお願ひいた
します。



☆ まだまだ、冬

立春を過ぎて、春の気配も感じられるようになってきましたが、まだまだ寒い日が続く、雪の便りも届くほど。そこで、今回は、まだまだ冬を楽しむために、雪の絵本を集めてみました。雪で遊んだあとは、暖かいお風呂にゆっくり浸かるのもいいですよ。



雪、その後は…



絵本・クリムのしろいキャンパス

イ・ヒョンジュ作、かみやにじ訳、福音館書店

ある冬の日、クリムは、どんよりと曇った空を見て、憂鬱な気分になります。そこで、クリムが灰色の空にクレヨンで雪を描いていくと、雪が降り積もり、クリムは雪の森へと出かけていきますが……。

クリムの持っている不思議なクレオンは、子どもたちを空想の世界へ誘ってくれます。

絵本・ゆきがくれたおくりもの

リチャード・カーティス文、レベッカ・コッフ絵、伏見操訳、ポプラ社

ロンドンに大雪が降った次の日の朝、学校にやって来たのは、学校で一番勉強が苦手なダニーと、学校で一番厳しいトラッパー先生だけでした。そこで、二人は、しぶしぶ勉強を始めますが……。

苦手な者同士、最悪になるはずが、とても素敵な一日を過ごした二人の、心温まるお話です。

科学絵本・ふしぎなゆきおかしなこおり

片平孝写真・文、ポプラ社

冬の夜、雪が静かに降っています。そして、朝、外に出ると、おやおや？ 大福に、パンケーキに、コックさんの帽子。雪はいろいろな形に積もっています。氷だって、いろいろな所にくっついて不思議な形に。この本は、そんなおかしな雪や氷の姿を、美しい写真で紹介してくれます。

読物・わにわにのお風呂

小風さち文、山口マオ絵、福音館書店

ワニのわにわにはお風呂が大好き。お湯を溜めて、お風呂に入ります。わにわには、お風呂の中で、おもちゃで遊びます。

楽しいお風呂の風景を、力強い木版画で描いた絵本。好き放題するわにわにの様子は、まるで元気な男の子のようで、子どものやりたいことがいっぱい詰まっています。シリーズでどうぞ。



絵本・ぼくびょうきじゃないよ

角野栄子作、垂石眞子絵、福音館書店

晩ごはんの後、ケンは何も言わずに咳をします。明日は、親戚のお兄ちゃんが、釣りに連れて行ってくれるのです。病気なんかしてられないのに、なんだか熱もあるし、胸もヒューヒュー言っているみたい。そこで、ケンがベッドで寝ていると……。

心優しいクマ先生とケンのやり取りも楽しい絵本。クマ先生に診てもらったら、すぐに治りそうですよ。

★ おはなし会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。ぜひ、楽しいおはなしを聞きに来てください！

今回は
時間
場所

3月21日(土)、4月18日(土)
午後3:00～3:30
西部図書館 お話し会のへや





☆ 絵本も一緒に、どうぞ

今年の大人のためのおはなし会のテーマは、北欧。そこで、北欧の昔話や、北欧出身の作家による本を集めてみました。すばなしと一緒に、絵本の世界にも浸ってみてください。

ようこそ！

絵本・三びきのやぎのがらがらどん マーシャ・フラウン絵、瀬田貞二訳、福音館書店

シンプルなお話に、迫力のある絵が魅力です。

大・中・小の三びきのやぎ、名前はみんながらがらどん。山へ太りにいくために、怪物(トル)のいる橋を渡ります。小さいの、中くらいのは何とか橋を渡り、そして…。最後に渡った大きなやぎのがらがらどんとトルの対決が痛快です！

絵本・ブルーベリーもりでの フッテのぼうけん エルサ・ベスコフ作・絵、小野寺百合子訳、福音館書店

フッテは、お母さんの誕生日プレゼントにと、ブルーベリーとこけももを摘みに、森へ出かけます。けれども、見つからなくて泣いていると、ブルーベリー森の王さまが出てきて……。

色調を抑えた、繊細な絵は、表情も豊かで、子どもたちも楽しげです。自然の姿も美しく描き出された絵本です。

絵本・つきのぼうや イブ・スバング・オルセン作・絵、山内清子訳、福音館書店

ある夜、お月さまが下を見ると、池の中にもう一人お月さまがいます。それが気になって仕方ないお月さまは、つきのぼうやに連れてきてくれるように頼みます。

さて、そこで、つきのぼうやが、水の中から連れてきたお月さまは……。

細い縦長の画面は効果的で、とてもユーモラスに描かれた絵本です。

アンデルセン童話

アンデルセンの童話と言えば、「マッチ売りの少女」「人魚姫」「みにくいアヒルの子」……など、どなたでも、たくさん浮かんでくることでしょう。アンデルセンは、1835年に最初の童話集を出版してから、157編の童話を作りました。それは、童話集としてだけでなく、たくさんの画家の挿画で絵本にもなりました。この機会に、新旧さまざまな画家による絵本を手にとってみてはいかがでしょうか？

読物・あおい目のこねこ フランソワーズ文・絵、与田準一訳(岩波の子どもの本)

青い目の元気な子ネコは、ある日、ネズミの国を探しに旅に出ます。途中、魚にびしょ濡れにされたり、黄色い目の猫たちにばかにされたりしても、くじけません。最後に、イヌの背に乗って行ったところは……。

白地に墨の大胆な絵に、青と黄色のみの色彩がおしゃれな絵本です。



読物・雪の森のリサベット アストリッド・リンドグレーン作、イロン・ウィークランド絵、石井登志子訳、徳間書店

雪のたくさん積もったある日、リサベットはお手伝いのアルバとクリスマスの買い物に出かけます。ところが、アルバが買い物をしている間に、知らない人のソリに思わず飛び乗ってしまったリサベットは……。

不安と闘いながら、必死にがんばるリサベットの気持ちがよく描かれていて、一緒に冒険できる本です。小学校低学年より。

「ムーミン谷」シリーズ

今年は、「ムーミン谷」シリーズの作者・トーベ・ヤンソンの生誕100周年、日本での出版50年にあたります。作者によると、「電話帳くらい」に小さい妖精(トル)が、初めて作品になったのは、第二次世界大戦終戦の1945年でした。その時のムーミンは怒った顔をしていました。そこから全9作の童話になり、トーベから弟ラルスへと引き継がれることになるコミックスになり、楽しいしかけのある絵本にもなりました。この機会に、全巻読んでみるのも楽しいですよ。